

二俣川ニュータウン 社協だより

第120号
2021(令和3)年
3月13日発行
◆発行人
二俣川ニュータウン地区
社会福祉協議会
会長 宮寺良孝
◆編集人
広報委員長 小宮 昭

二俣川ニュータウン地区で 2020年度の防災訓練を実施

二俣川ニュータウン地区には1の町内会があり、その町内会組織が中心となって昨年11月7日に防災訓練が実施されました。朝、各町内会で近隣住民の安否確認を行い、その結果を町内会長に報告。その後、避難所に指定されている旭中学校と中沢小学校にそれぞれ移動して、災害時に地域防災拠点としての機能が果たせるよう、避難所の設置・運営作業の訓練を旭中1年生と中沢小6年生たちともに行いました。子供たちにとっては貴重な体験になったと思います。

今回の防災拠点での防災訓練は、新型コロナウイルスの感染予防のため参加人数を大幅に絞り、防災拠点の対象エリアとなる旭中学校対象地区と中沢小学校対象地区でそれぞれ感染防止対策を検討した上で行われました。



朝、町内会で近隣住民の安否確認の訓練です



町内会長に安否確認結果を報告

防災拠点(避難所)ごとの対象町内会一覧

防災拠点	旭中学校					中沢小学校						
	東部	北一	北二	北三	北四	北五	第一	第二	南部	西部	中央	清水ヶ丘
町内会												

「旭中学校防災拠点訓練」

防災拠点の対象エリアとなる6町内会から旭中学校に避難する人数を各町内会で会長を含め2〜3名に絞り、訓練参加者は拠点委員(43名)、中1生(52名)、小6生(70名)を合わせて180名となりました。訓練では設置作業を中心に行うなど、子どもたちが活躍。拠点訓練としては①仮設トイレの設置②HUG(避難所運営ゲーム)③受付・区割り・テーブル設置④食料・機材運搬・湯沸かしなどが行われました。訓練の終わりに、校長先生から今回の訓練を総括して「子どもたちは地域の宝、将来の担い手として育ってほしい」との言葉がありました。

「中沢小学校防災拠点訓練」

防災拠点の対象エリアとなる6町内会から中沢小学校に避難する人数を各町内会で大人は10名程度とし、訓練参加者は拠点委員(31名)、中1生(45名)、小6生(47名)を合わせて178名となりました。防災拠点の訓練として、①受付訓練(体温計測、避難者カードの記入、消毒の徹底)②トイレバックの使い方訓練(体育館)③口腔ケア訓練(体育館)④HUG(避難所運営ゲーム)⑤まかない君使用訓練(運動場)⑥防災無線確認訓練などが行われました。



避難所運営をゲームで学ぶHUG



倉庫から炊飯器を搬出します



参加者一同がグラウンドに集合

＜ことば解説＞HUG(避難所運営ゲーム)：大規模災害が発生した場合に避難所運営を地域住民で行う場合を想定して、2007年に静岡県危機管理局が防災ゲームを開発し、避難所で発生すると予想される日々の出来事を管理・運営する側がどう対処するか疑似体験するゲーム感覚の訓練です。

スタンドパイプを使った 初期消火活動の訓練を実施

今宿消防出張所の消防隊員にご指導をお願いし、昨年10月3日、あきなれ公園で、連合町内会関係者を対象に初期消火訓練が行われました。放水作業は、それほど力も必要なく容易にできます。訓練は毎年行われていますので、掲示板等で日程をご確認いただき、皆さん是非ご参加下さい。



放水作業も体験しました



スタンドパイプの説明を受ける



体育館で口腔ケアの実地訓練です



子供たちもHUGに取組みます

ボランティア団体の 活動日程

- ◆生活支援「チョットしんぱん」
代表 春田 (065-1406666)
申込み 坂東 (065-2666666)
(060-1064-05664)
- ◆お茶パーティ「さんざん」
代表 宮寺 (060-174451)
第4水曜日 11時〜14時
3月24日・4月28日・5月26日
- ◆高齢者昼食会「朋愛会」
代表 飯塚 (060-00000)
第2水曜日 12時〜14時
日程(注)
- ◆健康と趣味のサロン「サロンあまら」
代表 小澤 (064-03326)
毎週金曜日10時30分〜15時
日程(注)
- ◆男の料理教室「男の食彩NT」
代表 半澤 (060-64009)
第2火曜日 9時〜
日程(注)
- ◆コース「ヌメス」
代表 舟山 (064-11362)
毎週火曜日 10時〜
日程(注)
- ◆子育てサロン「わいわいランド」
代表 関川 (060-118834)
第3木曜日 10時〜11時45分
日程(注)
- ◆介護予防体操「チャクラ・ニュータウン」
代表 佐々木 (060-26200)
第2金曜日 10時〜
日程(注)
- ◆介護予防体操「スマイル体操」
代表 田邊 (060-33078)
第4金曜日 10時〜11時30分
日程(注)
- ◆引きこもり予防
フルティックウォーク同好会
代表 山田 (064-113080)
申込み 坂東 (060-2666666)
第1日曜日 9時30分〜12時
事前に集合場所・目的地・参加費を連絡
4月から開催予定

(注) 状況を見ながら開催時期を検討

福祉講演会を開催

テーマは感染症予防

前号の社協だより(119号)に寄稿していただいた旭区役所生活衛生課の加藤元則様を講師に、昨年の10月18日、町内会館で次の二つのテーマで講演を行いました。

① 新型コロナウイルス感染症拡大の状況と対策

② 食中毒の予防と対策

お話の概要は以下の通りです。新型コロナウイルスはインフルエンザのウイルス感染に分類され、近年の世界的パンデミックとしては、1968年の香港風邪で約100万人、2009年の新型インフルエンザで約2万人、今回の新型コロナウイルスで約110万人が感染したと推定されます。新型コロナウイルスは指定感染症の2類相

当結核、SARSなど)に区分され、私たちにできる対策は、①手洗い・マスク②密回避③よく触ることをこまめに消毒④よく覆ってパランスの良い食事をとることなどです。

また、新型コロナウイルスだけでなく、食中毒も感染症です。食中毒菌は自然界に広く存在して、増殖には温度・水分・栄養の三つの要素が必要なので、食品に付着した菌の増殖を抑えるには温度のコントロールが最も重要です。一般に30℃から40℃で急激に増殖するので、60℃以上の加熱または冷蔵保存すると効果があります。更にノロウイルスについては徹底した手洗いが必要となりますので、特に注意が必要です。



町内会館で感染防止策を講じて開催



講師の加藤係長



受付で消毒と体調のチェック

『並木愛護会』 落葉清掃活動のご紹介 過去最多の1530名が参加

旭中・中沢小の生徒・児童も協力

二俣川ニュータウン並木愛護会 事務局局長 大庭悟彰

ニュータウンには、バス通りの両側を中心に沿道約1キロメートルにわたる約250本の銀杏が植栽されています。50年の間に大きく成長し、夏は歩道に日陰を作り、秋には素晴らしい紅葉が住民の目を惹きつけています。また、この銀杏並木は旭区の景観の一つとして紹介されており、多くの区民の皆様が、真っ黄色に染まる景色を楽しみにしています。

その一方で大量の落葉が発生させ、毎年11月上旬から12月中旬にかけて、落葉清掃が沿道にお住いの方々の日課となり、それはゴミ袋で1000袋を超える大量なものになっています。また、濡れた落葉が歩道に張り付き、歩行者の足をすくって転倒させる危険もあり、雨天であっても清掃が欠かせません。長年にわたって沿道住民の方々のご努力によって保たれている歩道の景観と歩行者の安全に、敬意と感謝を申し上げます。

そこでニュータウンでは、地域全体でこれらを支える体制を作りたいと考え、地域にお住いの皆様に働きかけ、平成24年11月

にサポーター79名の参加を得て『並木愛護会』が設立されました。これまで銀杏並木に加え、第八バス停までの「トウカエテ並木」第八バス停から中沢町バス停までの「ごぶし並木」へと落葉清掃エリアを拡大して活動が行われています。

昨年は112名のサポーターにより、11月14日・12月12日の火・木・土曜日の週3回(延べ20回)の清掃活動が取り組まれ、コロナ禍にもかかわらず、老人会(やくら会)むつみ会の協力参加も加わり、過去最多の延べ1530名の方々が落葉清掃を行いました。加えてこれまで旭中学校生徒は部活動の部員を中心に活動の協力をいただいできましたが、今年度は旭中2年生1005名が新設された生活・防災科の授業の環として活動に参加。高齢化が進むサポーターからは大きな戦力の参加に大歓迎の声が数多く寄せられました。また、中沢小3年生の参加もあり、次世代を担う小・中学生が地域への関心を高める動機付けとなることを期待されます。

旭区社会福祉協議会 2020 年度功労者として表彰されました

永年にわたる地域福祉へのご貢献に心より感謝を申し上げます。

功労表彰	氏名	活動内容	活動歴
地域福祉功労	安藤 静子さん	サロン「あさひ」ボランティア	16年3ヶ月
	石井 佳江さん	サロン「あさひ」ボランティア	16年3ヶ月
特別功労	内山智恵子さん	福祉協力員OG	20年5ヶ月
	村松 靖子さん	福祉協力員OG	20年5ヶ月

〈編集委員〉
小菅昭 福本理美子
小川美枝子 石村保子
小野寺眞一郎 根本恵子

旭中2年 江口佳奈
地域の皆様方が、私たちが来るよりずっと早くからいらして、さらに私たちが帰った後も残って掃除されていたのを見て、日頃私たちが学校にいる時間にも、こうして町のために動いて、いらしているのかもしれないと感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、コロナのせいもあって、地域の方々と何かをする機会がなかったため、挨拶を一緒に取り組めたことが楽しかったです。

旭中2年 本木万寿
中学生である自分たちが行くことで、頼りにされているのを感じた。だが、通りすがりの人々に「ありがとう」と言うのも、やっぱり、中学生は「ありがとう」に感謝していることを実感した。地域の皆様に助けてもらったグループの友だちとも協力しながら、細かいところまで掃除をすることができた。今後も、地域にむけてお手伝いのできることは、しっかりやっていたい。



皆で銀杏並木の落ち葉清掃活動です



旭中の生徒も参加です

住んでよかったと思える街づくり —— 二俣川ニュータウン

社協のホームページ開設しました!

二俣川ニュータウン地区社協 検索 <http://fnt-shakyo.sakura.ne.jp/>

【編集後記】現代社会のグローバル化によって新型コロナウイルスの感染が全世界で拡大しています。1都3県では緊急事態宣言の解除が見送られました。ワクチン接種が平滑に進み、一日も早く平穏な日が戻ることを願ってやみません。一方、自然災

害による脅威も忘れてはいけません。あの東日本大震災から、ちょうど10年。あの悲劇を忘れず不断の準備を重ねていくことが大切です。昨年11月、二俣川ニュータウン地区では、近隣の安否確認や防災拠点での避難所設置・運営に習熟するため

の防災訓練が行われました。避難所となる旭中学校と中沢小学校では生徒・児童が設置準備に大活躍でした。今回、初めて防災訓練に参加して感じたのですが、町内会ってすごいな。災害時には町内会組織が重要な役割を担うのですね。(K)